

YAMATO Nature Circle



2025年3月

葉画家・群馬直美のヤマトビオトープ園の葉っぱたち Vol.74

— 絵と文 群馬直美 —

唯一無二の葉っぱ《コブシ》

昨年11月に、ビオトープ園の池の辺りでカマクラヒバの葉っぱと出会った日、
じつはもう一つコブシの枯れ葉との出会いもあった。

美しい黄色に色づいた後、枝を離れ、はらはらと地面に身を横たえたのだろう。

赤茶、こげ茶、うす茶、そして黒や灰色が入り混じり

味わい深いダークブラウンの枯れ葉に、

名残の黄色が微かに見て取れるから。

正月4日、意気揚々と絵筆をにぎり描きはじめる。

新年を迎えた真新しい自分。枯れてはいるが新しい葉っぱ作品。

靈験あらたかな気持ちになる。

私が描かなかったら、この世に居たことを誰も知らないまま、

ヤマトビオトープ園の土にかえってしまったであろうコブシの葉。

『どこにでもあるただの葉っぱ』と思って描くのと、

『世界中どこを探しても見つけることのできない葉っぱ』と思って描くのでは、

雲泥の差がある。

『この世でただ一つの葉っぱ』と思った瞬間に、

私の背筋は天にまで届く勢いでスルスルと伸び、

体中にエネルギーが満ちあふれてくる。

そして、目の前のコブシの朽ちた葉っぱも、

それを描いているぬれ落ち葉のような私自身でさえもが、

『唯一無二の存在』に思えてくる……………。

コブシの枯れ葉からの、新春メッセージを受け取った。

——みんな唯一無二の葉っぱだよ。



《表紙の絵》コブシの枯れ葉

「世界に1つだけの葉っぱ」

・ヤマトビオトープ園にて2024.11.20採集
(作品の完成日は2025年1月19日)

・紙(アルシユ極細目)/テンペラ・油絵の具

・size:230mm×160mm ©Naomi Gumma

群馬直美 GUMMA NAOMI プロフィール

高崎市生まれ。1982年、東京造形大学絵画科卒業。在学中に新緑の美しさ、その生命力に深く癒された経験から、“葉っぱ”をテーマとする創作活動に入る。「葉っぱの精神—この世の中の一つ一つのもの全て同じ価値があり光り輝く存在である」に則り、1991年テンペラで克明に描く現在の作風に至る。著書に『言の葉 葉っぱ暦』『群馬直美の木の葉と木の実の美術館』『葉っぱ描命』他。東京都立川市在住。 <https://www.wood.jp/konoha/>